

学校番号	51	学校名	恵那農業高等学校
------	----	-----	----------

社会的役割等 (スロー・ミッション)	農業を学び、農業で学ぶことができる東濃地域の農業高校として 地域課題の解決を目指す実践的な学びを通して 地域社会の担い手となる自覚の開花を目指す学校						
学校教育目標 (教育方針)	(1) 生徒一人一人が持つ可能性を引き出し、個性を最大限に伸ばす指導に努める。 (2) 社会人として必要な基礎・基本を身に付けさせ、自立した人間を育てる指導に努める。						
3つの方針 (スロー・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【G P】	・明るく元気で、しっかりあいさつができる生徒 ・規律を守り、自らの行動に責任の持てる生徒 ・地域から信頼され、地域から愛され、地域と共に歩む生徒 ・地域社会の発展、地域産業の発展に貢献できる生徒					
	生徒をどう 育てるか 【C P】	・将来の農業のスペシャリストを目指して、より高度な専門性の定着を行う ・基礎・基本の徹底を図り、生徒が持つ特性や可能性を最大限に伸ばす指導を実施する ・日々の授業を大切に、学習活動を様々な角度から適切に評価する					
	どんな生徒を 持っているか 【A P】	・自ら学び自ら考え、他者と協働しながら主体的に学びたい生徒 ・生命体を扱う農業に関心があり、生命の尊さや豊かな心を持つ生徒 ・地域を愛し、地域と連携した活動に興味を持つ生徒					
学校の抱える課題	・授業形態や指導方法を工夫し、肯定的な評価をすることで生徒のやる気を引き出しているが、自主的な学習態度の定着と学力の向上に充分にはつながっていない ・集団に属することで起こる人間関係トラブルがある。それらに対する個別の対応、教員同士の情報共有、外部との連携等が不十分なところがある ・進路に向けた活動において目的が明確に理解されておらず、効果が十分に発揮されていないことがある ・生徒が専門力を生かして「誰かの助けになりたい」という観点から学びを深められているが、さらに科学性の追求と、生徒相互の学び合いが必要である ・熱心に取り組む職員、生徒の負担が大きい。						
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標					
	学習指導	学習環境を整え、自主的な学習態度を育成し自己教育力の向上を図る					
	生徒指導	共感的な生徒理解に努め、他者を思いやる心、自らの行動に責任を持ち正しく判断できる態度を育成する					
	進路指導	自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路選択が出来る能力と態度を育成する					
	その他	生徒と共に活動する中で、部活動の活性化を図り、健康な心身と協調性を養う 地域社会の発展に貢献できる社会人を育成します。また、これを具現化するため学校運営協議会等による適切な助言を受けながら生徒支援を行う					
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	・教職員が適正な時間に休憩時間を確保できるようにすることを含め、教職員の勤務時間を考慮した時間設定を行う ・緊急時の連絡体制を確保したうえで、学校閉庁日を設定し、計画的な休暇の取得ができるようにする ・業務内容の不断の見直しを心がけ、業務の適正化・効率化に向けた取り組みを行う						
年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A, B, C, D	成果と課題	総合 評価 A, B, C, D
学習指導	①学習指導と授業研究・職員研修の充実に努めます。	施策Ⅱ-8	生徒の実態に応じた授業が できているかの検証ができたか				
	②学習の定着と基礎学力の定着に努めます。	施策Ⅱ-8	基礎学力定着のための教材 を効果的に活用し、改善に 向けた検証ができたか				
	③情報ネットワークと機器を生かし、生徒の主体的な学びを育てる基盤を構築し、運用についての研究と実践を すすめます。	施策Ⅱ-9	I C Tを活用した授業がで きたか				
生徒指導	①生徒への声かけや対話を通した個と集団への働きかけにより、自己理解力やコミュニケーション力、人間関係形成力など社会的資質・能力を育成します。(発達支持的生徒指導)	施策Ⅰ-1	有効な働きかけの手段を提供 することができたか				
	②いじめ防止、S O Sの出し方(自殺予防)、薬物乱用防止、情報モラル教育の実施により未然防止に努めます。(課題予防的生徒指導(課題未然防止教育))	施策Ⅰ-3	各種防止教育を実践できた か				
	③生徒の小さな変化を見逃さず、問題の早期発見と組織的な早期対応に努めます。(課題予防的生徒指導(課題早期発見対応))	施策Ⅰ-3	教育相談活動を中心に、生徒の 情報を共有することができたか				
	④指導に特別な配慮を要する生徒に対する個別支援、校外の専門機関と連携した対応に努めます。(困難課題対応的生徒指導)	施策Ⅳ-21	個別の対応、専門機関との 連携ができたか				
進路指導	①体験的な学習を通して、正しい勤労観や職業観の育成を図ります。	施策Ⅱ-13	事前事後指導を含め体験的な 学習を実施できたか。				
	②コミュニケーション能力とビジネスマナーの育成を図ります。	施策Ⅰ-1	入学から卒業まで継続的に 指導できたか。				
	③地元企業を中心に、また学科の専門性を活かした職業理解が深まるような機会を提案します。	施策Ⅱ-14	企業や学科との情報交換や 連携が図られたか。				
	④進学希望者(特に四大・看護医療系)と公務員希望者に対する指導の充実を図ります。	施策Ⅱ-8	早期からの継続的な進路指導 ができたか。				
その他	部活動やボランティア等、授業外での学びが深いものとなるよう推進します。	施策Ⅰ-7 施策Ⅳ-24	参加人数、活動回数、結果が 近年の数値を上回ることが できたか。				
	「自らの命は自ら守る」という意識を育み、災害安全、交通安全、情報モラルを含む生活安全に関する安全教育を地域と連携し、充実します。	施策Ⅲ-19	より実情に即した安全教育を 実践することができたか				
	「地域から信頼され、地域から愛され、地域と共に歩む」農業高校を目指すとともに、地域を愛し、地域の発展に貢献できる人材を育成します。	施策Ⅰ-4	地域の発展に貢献できる研究 テーマを設定して組織的に活動 できたか				
	課題研究活動等を通して、地域資源を活用し、地域が抱える農業、環境分野での課題を設定し、主体的、積極的に解決していく能力や態度を育成します。	施策Ⅱ-14	地域の方々と交流する姿勢を 育み、科学的な知見を持って考察 ができたか				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和 年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和 年 月 日

--	--